

森林レンジャーがゆく (130)

「わが^が蛾夜の昆虫調査会」



これまでの市版のレッドリストでは、哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類や植物の部門が作成され、今度は昆虫類の作成を予定しています。作成されたレッドリストは市の貴重な財産である「大自然」の環境整備や保全活動に役立つ道具となり、作成予定の昆虫類版も例外ではありません。

13年間の調査で私は1100種類を超える哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、魚類や昆虫類などを記録し、そのなかには市では初記録となる種類も意外と含まれています。しかし、生息状況が明らかになっていない種類や、特に昆虫類の場合はまだ発見されていない種類もいると思われるため、これから把握するべきと考えています。

その流れを背景に、市の自然環境調査部会の誘いで、9月に合同で夜の昆虫類調査を行いました。ライトトラップなどの方法で、主にガの仲間を調べました。見られたガのほとんどは小さく、見た目の地味な種類が多かったため、同定は少し苦労しましたが、初めて見る種類が数多くいました。今後も、このように新たな記録が得られることが期待できます。

一方、今回の話題の中心となるガの仲間は街路樹や果樹に寄生する種類や、稀に毒のある種類もいるため、嫌う人が多いと思います。しかし、よく見ると模様は細かい種類が多く、シンジュサン、オオミズアオやコトラガの様な美しいガや、ギンモンズズメモドキやアケビコノハなどの不思議で、魅力的な種類もいます。また、自然界では、非常に多くの生物の餌となることも含めて、やはりガの種類が多いほど全体的に多様性の高い自然を示すので、好き嫌いは別にして欠かせない存在でしょう。

(パプロ)

